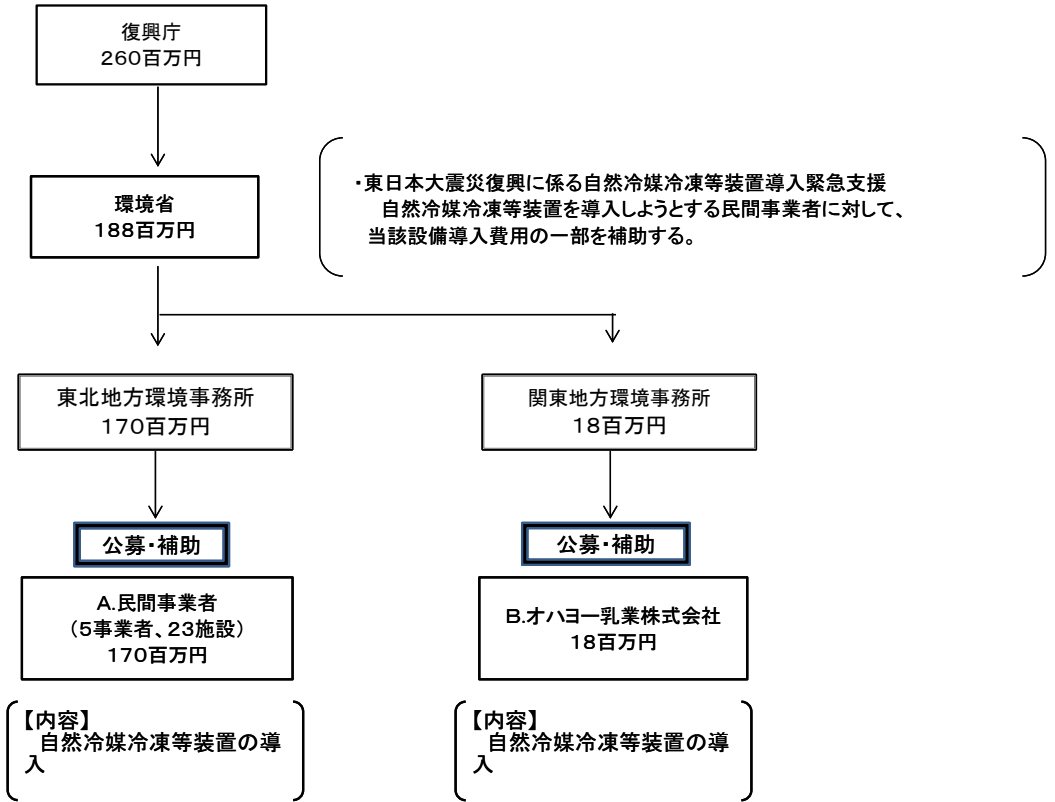


平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)			
<b>事業名</b>	東日本大震災復興に係る自然冷媒冷凍等装置導入緊急支援		<b>担当部局庁</b>	復興庁		<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度～平成26年度		<b>担当課室</b>	統括官付参事官(予算・会計担当)		<b>参事官</b>	大野 秀敏			
<b>会計区分</b>	東日本大震災復興特別会計		<b>政策・施策名</b>	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進						
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項		<b>関係する計画、通知等</b>	京都議定書目標達成計画						
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	フロン類冷媒と比べて格段に環境負荷の少ないアンモニア等の自然冷媒を利用した冷凍・冷蔵・空調装置(以下「自然冷媒冷凍等装置」という。)の導入を進めることにより、被災地域の産業の早期回復を支援するとともに、フロン類冷媒の漏洩等による温室効果ガス排出を抜本的に改善し、地球温暖化防止を促進させるものである。									
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	地域の食品製造・加工業、小売業、物流業等の基幹産業の回復を支援するとともに、地球温暖化対策を強力に促進するため、東日本大震災の被災地域の復興に関連して冷凍等装置の整備・改修等を実施しようとする民間事業者に対して、自然冷媒冷凍等装置を導入する場合に、その導入費用の一部を補助する(装置導入費用の1/3を補助。上限5,000万円。)									
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
	予算の状況	当初予算			300	400	200			
		補正予算			—	—				
		繰越し等			△ 40	40				
		計			260	440	200			
	執行額				188					
執行率(%)				72.3%						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)		
	導入自然冷媒冷凍等装置によるCO2削減効果			成果実績	トン-CO2/年	—	—	1,930	7,200	
				達成度	%	—	—	34%		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込		
	冷凍倉庫等への導入施設数			活動実績	施設	—	—	24	—	
				(当初見込み)		( — )	( 6 )	( 19 )		
<b>単位当たりコスト</b>	8,160 (円/トン-CO2)			算出根拠	平成24年度の補助事業(24施設)による冷媒代替による温室効果ガス削減量(CO2換算)は、1施設あたり約80トン-CO2/年であるので、耐用年数を12年としたときの削減量の合計は、960トン-CO2。平成24年度の執行金額は188百万円であるから、CO2 1トンあたりの削減コストは、約8,160円。					
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	地球温暖化対策推進事業費補助金		400	200	平成24年度の執行状況、被災地域での復興に関連する業務用冷凍等装置の導入の動きに関するメーカー、業界団体等に対するヒアリング等を勘案し、平成24年度の執行額程度の要求としたことによる減。					
	計		400	200						

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	東日本大震災で被災した事業者の早期の事業再建を促すための機器の導入に係る支援であり、国が実施すべき事業として極めて緊急性が高く、かつ、温室効果ガスの排出を削減するものである。また、本装置の導入は、フロン類機器と比べて価格が高いことなどから、民間等に委ねては進まない状況である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	補助対象事業者の選定にあたっては公募を行っており、費用対効果、CO2削減量等を総合的に勘案して選定している。 また、受益者にも事業の2/3の額の相応の負担を求めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	業務用の冷凍等装置は、その用途上、地域の食品製造・加工業、小売業、物流業等の基幹産業において必要不可欠な装置であることから、その導入の支援により、これらの基幹産業のみならず、下流産業を含む、被災地域全体の早期の復興に大きく資することとなり、さらに、使用時における冷媒漏洩漏えいに伴う地球温暖化対策を強力に促進することとなることから、効果的かつ低コストで実施できている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	省エネ型ノンフロン整備促進事業は、補助対象とする装置は同様であるが、①補助対象を全国としており(復興事業は被災地限定)、また、②補助額の算定に当たってはフロン類機器との差額の3分の1(復興事業は総額の3分の1)とするなど、復興事業とは補助対象等が大きく異なる。		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
	036	省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業			環境省地球環境局
点検結果	<p>・各項目の評価を踏まえた課題や今後の改善の方針            執行率が100%に達していないことから、広く周知を行い応募を促すとともに、応募内容の審査に当たっては、執行可能性について十分に確認を行い、執行可能性が高いものを優先して採択するなど、執行率向上を図る。</p>				
外部有識者の所見					
<p>執行率が72.3%と十分高いとは言えないことから、被災事業者のニーズの的確な把握に努め、予算規模について精査を行うこと。</p>					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	<p>平成24年度の執行額が十分高いとは言えないこと、復旧の進展に伴い今後は事業に対するニーズの低下が予想されることから、事業規模の見直しを行うことが適当である。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	<p>平成24年度の執行実績等を踏まえ事業規模の見直しを行い、減額のうち平成26年度予算要求を行った。(平成25年度比2億円減)</p>				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	平成23年	平成24年	24新-33	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と用途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

A.株式会社ローソン			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	自然冷媒冷凍等装置設置(19施設)	67			
計		67	計		0
B.オハヨー乳業株式会社			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	自然冷媒冷凍等装置設置	18			
計		18	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ローソン	自然冷媒冷凍等装置設置(19施設)	67	—	—
2	株式会社シンコー	自然冷媒冷凍等装置設置	43	—	—
3	畠和水産株式会社	自然冷媒冷凍等装置設置	23	—	—
4	株式会社須賀川東部運送	自然冷媒冷凍等装置設置	21	—	—
5	有限会社広洋水産	自然冷媒冷凍等装置設置	16	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オハヨー乳業株式会社	自然冷媒冷凍等装置設置	18	—	—